

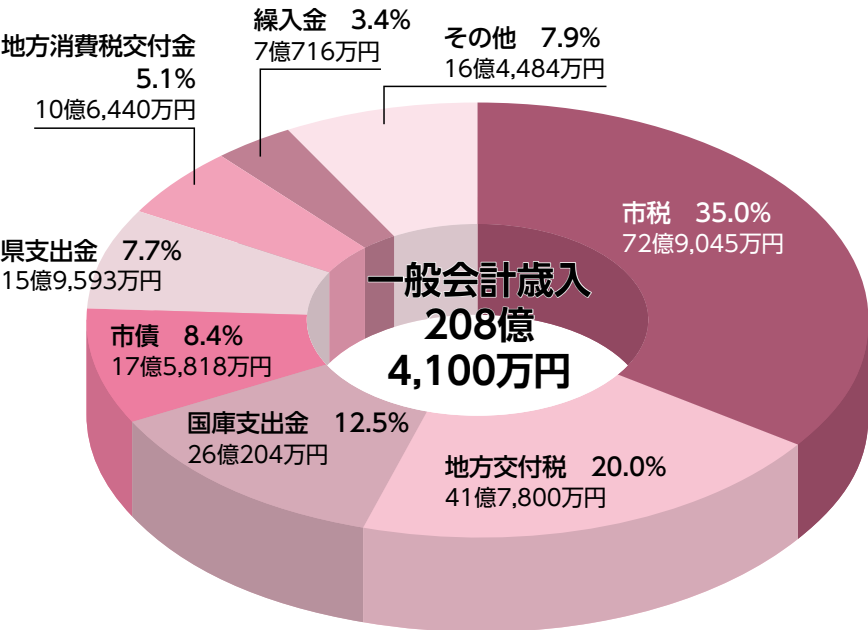
一般会計予算の内訳

歳入

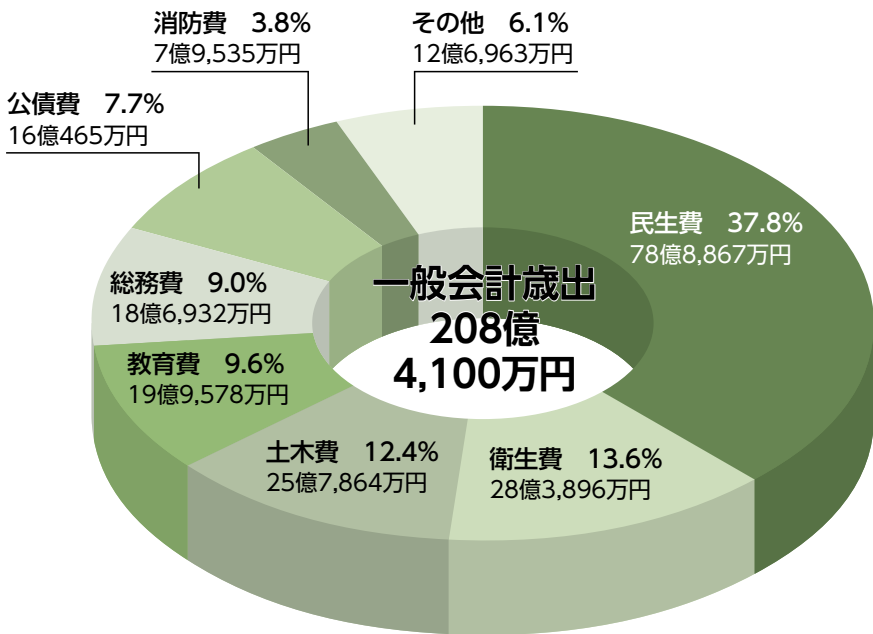
歳入では、税制改正に伴い市民税の減額を見込みましたが、家屋や償却資産に係る固定資産税の増額を見込み、市税の総額は72億9,045万円と前年度比0.6%増としました。

また、地方交付税は、国が総額を減額したことなどにより、41億7,800万円と前年度比0.8%減を見込んでいます。

地方消費税交付金は、地方消費税の増額を反映し、10億6,440万円と15.5%増を見込んでいます。



歳出



歳出では、新たに中学校35人学級サポートティーチャーを配置するとともに、学術文化活動やスポーツで活躍する生徒などを支援する新たな奨学金制度の創設など、学校教育の充実に要する費用を計上しました。また、保育と教育を一体的に行い、質の高い幼児教育を目指す認定こども園の整備に係る費用や、美濃焼の知名度・ブランド力を高めるPR活動などによる美濃焼振興事業の経費を計上しました。

さらに、駅西側自動車駐車場の改修や自転車駐輪場の整備を行うなど、昨年度に引き続き駅前広場の整備事業を進めます。

市民1人あたりに使われる一般会計予算（2月末人口 59,769人で計算）

民生費	衛生費	土木費	教育費	総務費	公債費	消防費	その他
							商工費、議会費、農林水産業費など
131,986円	47,499円	43,143円	33,392円	31,276円	26,848円	13,307円	21,242円

合計 348,693円

一般会計 **208億4,100万円**
特別会計 **159億3,245万円**
企業会計 **102億2,083万円**
総 額 469億9,428万円

平成28年度予算、決まる。六次総スタート

平成28年第1回土岐市議会定例会において、平成28年度当初予算が可決されました。

第六次土岐市総合計画のスタートの年である平成28年度の当初予算は、まちの将来像「人と自然と土が織りなす交流文化都市」の実現と「土岐市人口ビジョン」が示す将来展望の実現のため、限られた予算を優先的・効率的に配分しました。

前年度当初予算と比較して、一般会計で0.8%の増、下水道建設費の減額や国民健康保険事業の減額により特別会計で0.5%の減となっています。また、企業会計では、医薬品費の増により病院事業が増額となりましたが、減価償却費などの減による水道事業費の減額により昨年とほぼ同額となっており、総予算額では0.2%の増となっています。主な事業は、4、5ページで紹介しています。

問 総務課（内線226）

平成28年度当初予算 会計別内訳

会計名		平成28年度	平成27年度	前年度比
一般会計		208億4,100万円	206億7,400万円	0.8%
特別会計	下水道事業	20億4,972万円	22億2,933万円	△8.1%
	国民健康保険	74億895万円	75億1,290万円	△1.4%
	駐車場事業	7,093万円	6,672万円	6.3%
	介護保険（保険事業勘定）	55億4,605万円	53億9,138万円	2.9%
	介護保険（サービス事業勘定）	2,013万円	2,539万円	△20.7%
	農業集落排水事業	4,101万円	3,704万円	10.7%
	土岐市・瑞浪市介護認定審査会	3,696万円	4,355万円	△15.1%
	土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会	603万円	594万円	1.4%
	後期高齢者医療保険	7億5,267万円	6億9,569万円	8.2%
	計	159億3,245万円	160億794万円	△0.5%
企業会計	病院事業	75億8,288万円	73億7,566万円	2.8%
	水道事業	26億3,795万円	28億4,428万円	△7.3%
	計	102億2,083万円	102億1,994万円	0.0%
合 計		469億9,428万円	469億188万円	0.2%